

水産海洋学会研究発表大会シンポジウム

## 開放型の大深度湾におけるエビ類資源とそれらを取り巻く物理・化学・生物環境

**日 時**：2024年11月22日（金） 13:00-17:20

**場 所**：静岡県総合研修所 もくせい会館（静岡市葵区鷹匠 3-6-1）

**共 催**：水産海洋学会，東海大学海洋学部

**コンピーナー・座長**：西川 淳・高橋大介（東海大海洋）・張 勁（富山大理）・千手智晴（九大  
九大応力研）

挨拶：木村伸吾（水産海洋学会長） 13:00-13:10

趣旨説明：西川 淳（東海大海洋）・張 勁（富山大理） 13:10-13:20

### 1 駿河湾のサクラエビ 座長 高橋大介（東海大海洋）

(1) 海流がサクラエビの生残に及ぼす影響…田中 潔（東大大気海洋研） 13:20-13:40

(2) 駿河湾サクラエビ漁業の現状と水技研の取り組み…門奈憲弘（静岡水技研） 13:40-14:00

(3) サクラエビとカイアシ類のアスタキサンチン…宗林留美（静岡大理） 14:00-14:20

(4) 駿河湾湾奥におけるサクラエビの個体群動態：なぜ記録的不漁は起こったのか？  
…西川 淳（東海大海洋） 14:20-14:40

(5) サクラエビの駿河湾および台湾間の遺伝的交流…平井惇也（東大大気海洋研） 14:40-15:00

休憩（15:00-15:10）

### 2 富山湾のシラエビ 座長 千手智晴（九大応力研）

(1) 富山湾の地形，海流…千手智晴（九大応力研） 15:10-15:30

(2) 富山湾を育む物質循環…張 勁（富山大理） 15:30-15:50

(3) 炭素窒素安定同位体比からみた富山湾の食物網…稲村 修（魚津水族館） 15:50-16:10

(4) 富山湾におけるシラエビ漁業の現状と富山水研の取り組み…大場隆史（富山水研） 16:10-16:30

(5) 富山湾におけるシラエビの資源解析…三箇真弘（富山水研） 16:30-16:50

3 総合討論 座長 西川 淳（東海大海洋）・張 勁（富山大理） 16:50-17:20

**開催趣旨**：日本周辺には多くの開放型湾が存在するが，中でも水深 2000 m を越える大深度域をもつ湾は限られている．そのような湾として，太平洋に面した駿河湾と日本海の富山湾が挙げられる．両湾は，共に (1) 急峻で特徴的な地形をもち，(2) 大型河川等による淡水の流入が

あり、さらに、(3) 表・中層性の漂泳性エビ類が大量に出現し漁業の対象になっている、という特徴をもつ。本シンポジウムでは、駿河湾におけるサクラエビ *Lucensoergia lucens* と富山湾におけるシラエビ *Pasiphaea japonica* を対象とし、両エビ類に関する近年の漁業の動向や最新の研究を多角的に紹介する。また、それらを俯瞰し、情報交換することで、これら漂泳性エビ類に関する分野横断的な研究のアイデアを創出したり、近年不漁に悩まされているこれらエビ類の資源回復に関する示唆を得ることを目的とする。